



●育て上げネット

Vision

目指すべき社会

すべての若者が将来に希望を持てる社会

Mission

果たすべき使命

若者が抱える困難や課題を解決し、若者と社会をつなぐ

Value

提供すべき価値

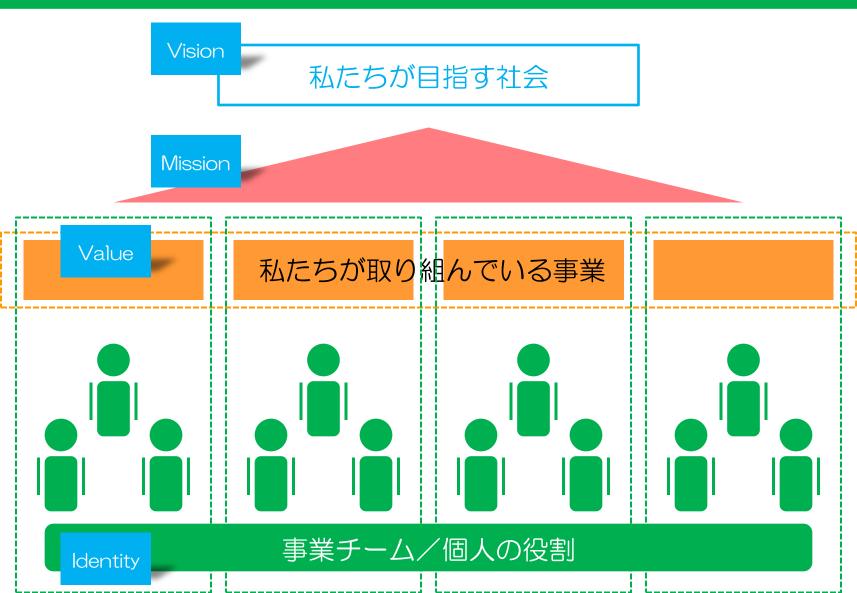
持続的な社会参加と経済的自立

Identity

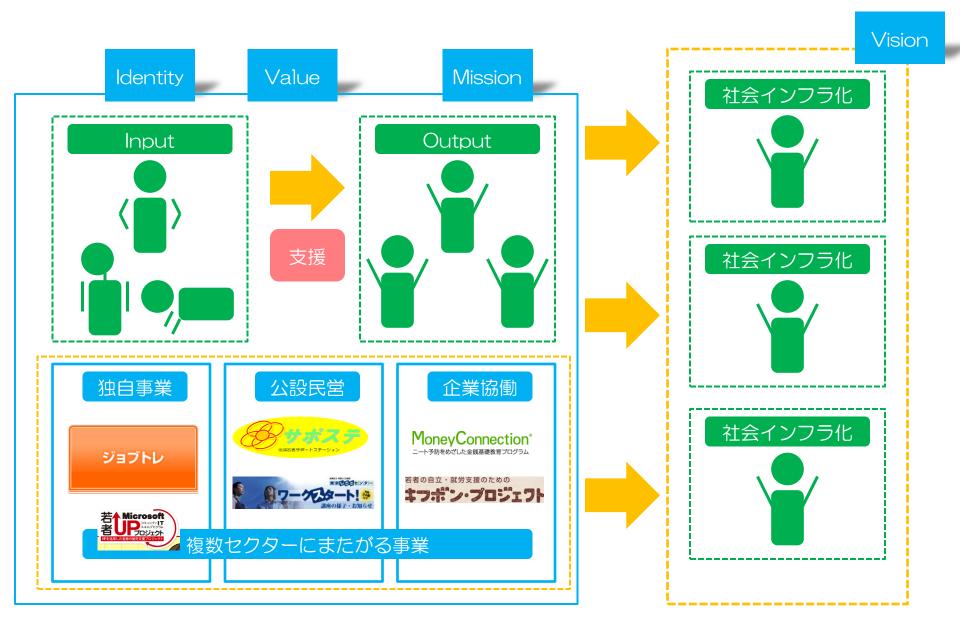
私たちは支援者である

- ●私たちは、若者の自立を「社会投資」と考え、将来の「社会リターン」となることに 強い信念と揺るがない志を持って活動する<mark>支援者</mark>である。
- ●若者の課題解決を妨げる障壁を乗り越え、未知なる課題に対しては解決手段を創造する 支援者である。
- ●自己犠牲・他者依存に依らない自立的な組織を築くための「社会性」と「事業性」の両立を 追求するべく、常に創意工夫を怠らない支援者の集合体であり続ける。

●各所・個人/役割の把握



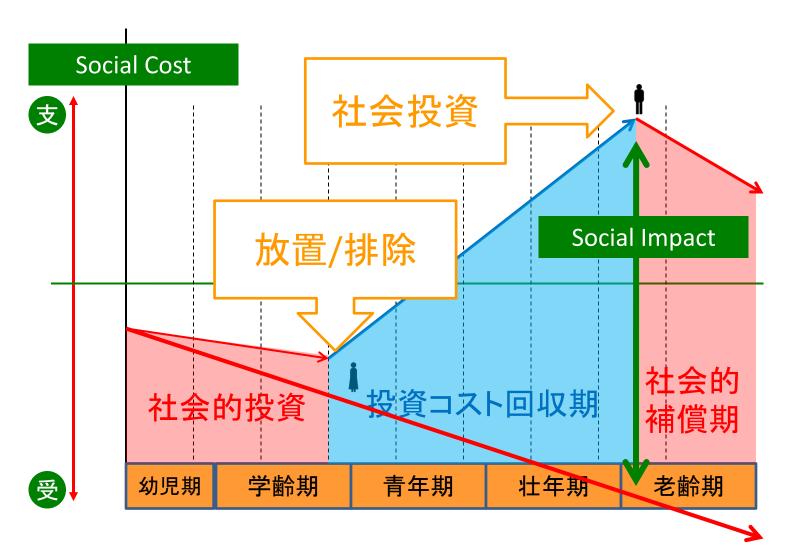
●育て上げネットとは②







若者の自立支援=社会投資



}/} } } }

Category	Name	Volume	Comment		
	不登校	12万人	不登校リスクの顕在化		
教育	高校中退	6万人	転向/転部の問題		
	大学中退	11万人	中退率は非公表		
非労働力	ニート	63万人 (86万人)	若者の定義 ・更生保護 ・生活保護/家庭		
	ひきこもり	70万人	親和群155万人		
労働力	非正規就労	1/3	1/4貯金ゼロ 1/5年収200万以下		



主要事業

若者就労支援事業



保護者支援事業



教育支援事業







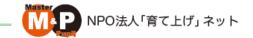


川下•対処型 支援事業

川上•予防型 教育事業

Scale-Out /社会インフラ化





●育て上げネット/事業ドメイン・収益源

事業の柱

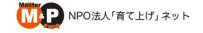
若者支援事業 保護者支援事業 教育事業 受益者負担型事業 行政協働型事業 企業協働型事業 人材育成/組織育成事業

子ども・若者人口

総人口: 128,056,000人

0歳~29歳: 37,232,000人

昭和25年から右肩下り29.1%

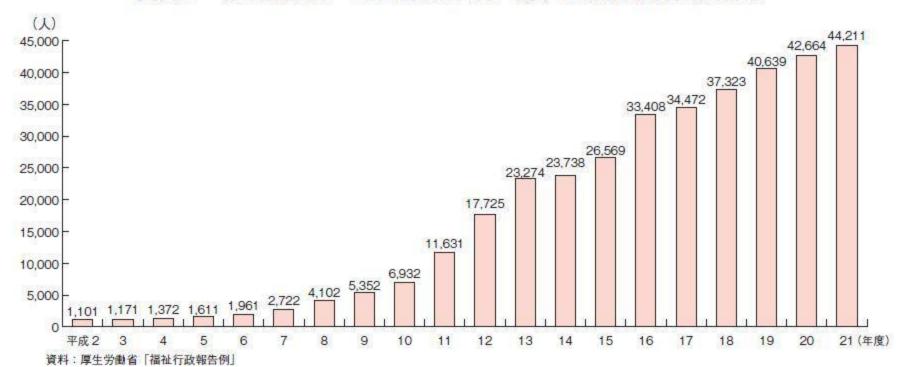


○児童虐待に関する相談対応件数

児童虐待に関する相談対応件数は、年々増加。

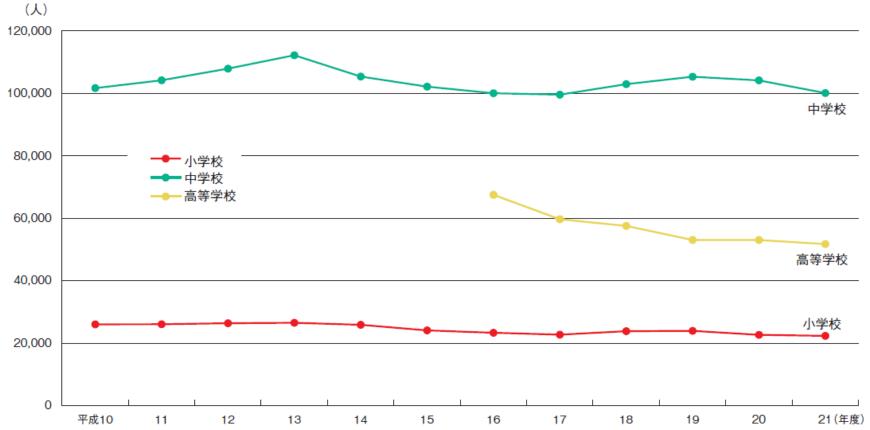
児童相談所における児童虐待相談の対応件数は、4万4211件(前年比3.6%増)。

図表9 児童相談所における児童虐待に関する相談対応件数の推移



第1-1-20図

国・公・私立の小中高等学校における不登校児童生徒の推移



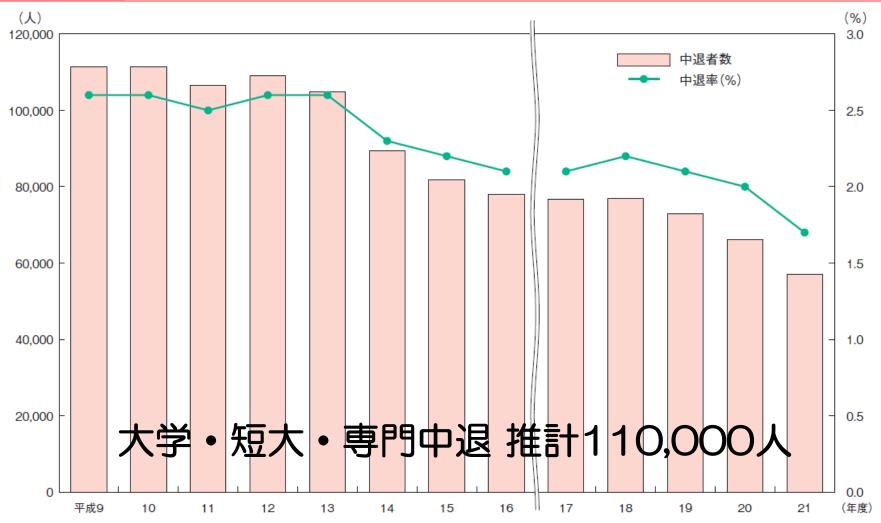
(注) 1 年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒数のうち不登校を理由とする者について調査。不登校とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないまたはしたくともできない状況にあること(ただし、病気や経済的理由によるものを除く)をいう。 2 高等学校は、平成16年度から調査。

資料: 文部科学省「平成21年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

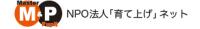


第1-1-21図

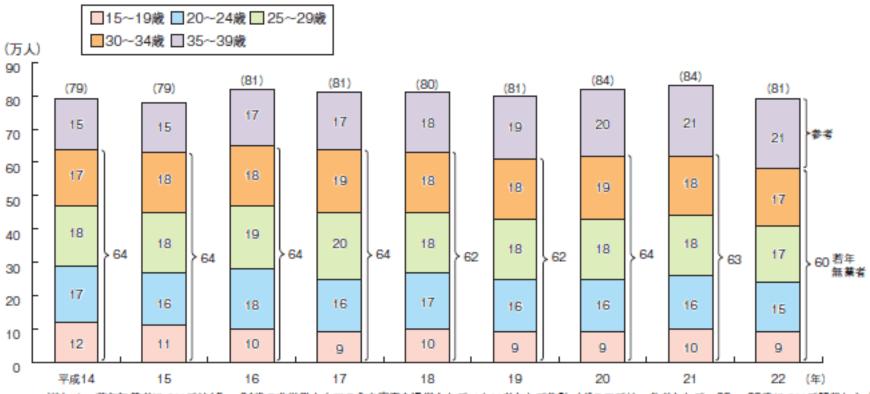
高等学校における中途退学者数の推移



(注)調査対象は平成16年度までは公・私立高等学校、平成17年度からは国・公・私立高等学校 資料: 文部科学省「平成21年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」



若年無業者数の推移



(注) 1 若年無業者については15~34歳の非労働力人口のうち家事も通学もしていない者として集計(グラフでは、参考として、35~39歳について記載した。)。
2 15~34歳計は、「15~24歳計」と「25~34歳計」の合計。15~39歳計は「15~24歳計」、「25~34歳計」及び「35~39歳」の合計。「15~24歳計」、「25~34歳計」を15~39歳」の合計。

資料:総務省統計局 「労働力調査」



ひきこもり群の定義・推計数

(注1)	[有効回収率に 占める割合(%)]		国の推計数 「人) (注2))
ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける		0. 40		15.3	狭義の ひきこもり 23.6万人 ^(注3)	
自室からは出るが、家からは出ない		0.09		3.5		
自室からほとんど出ない		0.12		4.7		
ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する		1.19		準ひきこもり 46.0万人		
亡きなれるマキロ						

#

1.79

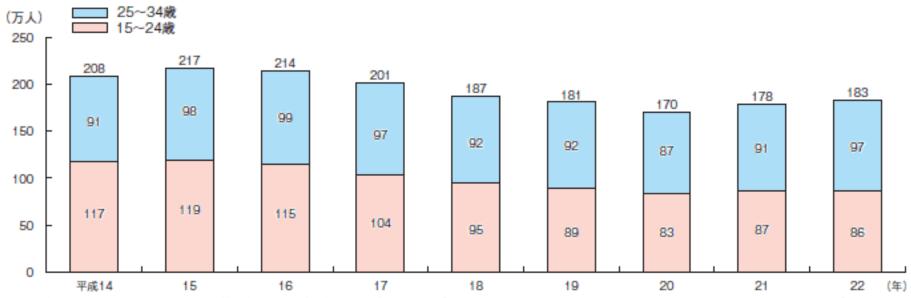
広義のひきこもり 69.6万人

- (注) 1 ア) 現在の状態となって6か月以上の者のみ
 - イ)「現在の状態のきっかけ」で、「病気(病名:)」に統合失調症又は身体的な病気、又は「その他 ()」に自宅で仕事をしていると 回答をした者を除く
 - ウ)「ふだん自宅にいるときによくしていること」で、「家事・育児をする」と回答した者を除く
 - 2 総務省「人口推計」(2009年)によると、15~39歳人口は3880万人より、有効回収率に占める割合(%)×3880万人=全国の推計数(万人)
 - 3 厚生労働省の新ガイドラインにおけるひきこもりの推計値は25.5万世帯となっており、ほぼ一致する。

資料:内閣府「若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査)」

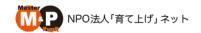


フリーター人口の推移



(注) フリーターを15~34歳で、男性は卒業者、女性は卒業者で未婚の者とし、①雇用者のうち勤め先における呼称が「パート」又は「アルバイト」である者、②完全失業者のうち探している仕事の形態が「パート・アルバイト」の者、③非労働力人口のうち希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」で、家事も通学も就業内定もしていない「その他」の者としている。

資料:総務省統計局「労働力調査(評細集計)」



●「働く」≠「働き続ける」

「働く」≠「働き続ける」

「働く」 二就職支援 資格/履歴書/面接 身だしなみなど

「働き続ける」 二継続支援 働き続けられなかった若者 → (人間関係) × (コミュニケーション)

●支援者の行動指針

支援者行動指針

- 最初を最重要とする
- ●最短距離を把握する
- 最速のまわり道を重視する
- 最善策を複数持つ
- 最も信頼される他者となる

半歩先を見て、半歩後ろを行くいいことしていると思わない



若保 養者

社会参加/経済的自立が困難である

地域

高齢化/担い手不足 各種サービスの非活用

企業

人材確保/コストカット CSR/社会貢献など 働く/働き続ける 成長機会の提供

若者が地域/個人の 課題を解決する

人材供給 請負業務受注など 若者支援/親支援 受益者負担

解決サービスへの 対価発生

> 受注対価 CSR予算

ナレッジの蓄積/加工 Research / Development / Marketing

政府施策

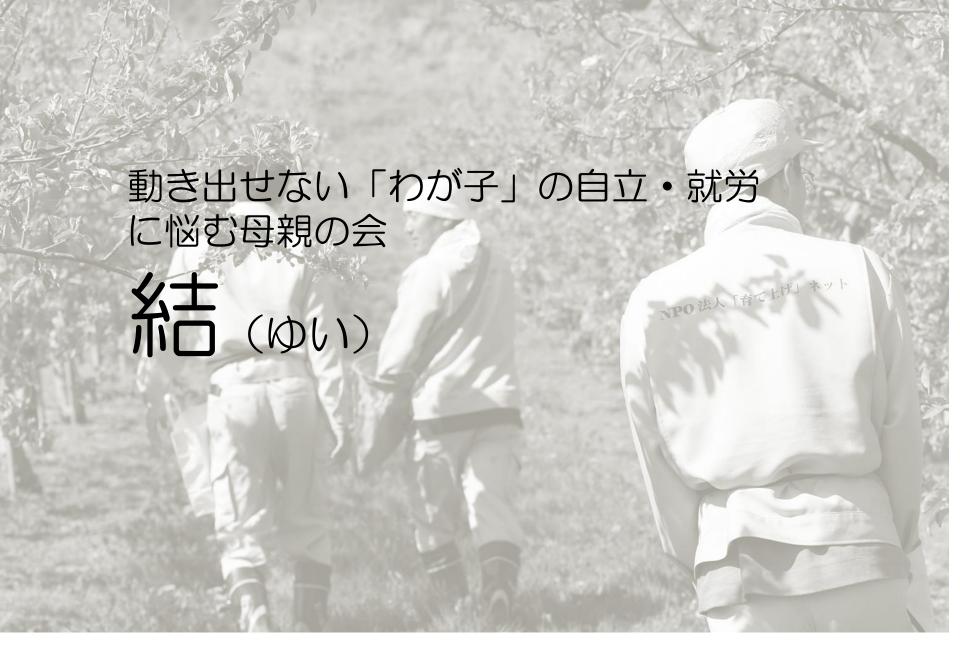
人材育成

教育コンテンツ

調查研究











お子さんのことで一人で悩んでいませんか? 「これから」のことで不安を抱えていませんか?



「わが子」が一歩を踏み出すまで、 ご家族をサポートします。

「わが子」の一歩を共に







Money Connection[®]

生きてくには お金がかかる。 将来を選ぶのにも お金がかかる。 だから子供たちに







ケータイから職業や社会の仕組みを知ろう!







若者を社会へとつなぐサポート

家庭訪問支援士養成講座

一人でも多くの孤立した若者に、 支援を届けるために……

本講座では、長年にわたって、実践から経験を積み上げてきた

訪問支援専門家の監修・協力により、

孤立した若者、その状態に悩む親・家族への対応をはじめ、

具体的にどうすればよいのか、実際に何を行なうのかを詳細に解説・体系化。

実際の現場で戦力となる「家庭訪問支援士」を養成します。



NPO法人「育て上げ」ネット



来る、を待たない

困難を抱える子ども·若者

- ●被虐待児童 4万人●不登校児童 12万人(小学生2万人(314人に1人)/中学生10万人(35人に1人))
- ●高校中退者 8万人 ●大学・短大・専門中退 11万人 ニート 86万人 ●ひきこもり 70万人(親和群155万人)



社会の支援は「来る」を前提としている

- ●保健所 ●精神保健福祉センター ●少年補導センター ●ハローワーク ●ヤングハローワーク
- ●ジョブカフェ ●地域若者サポートステーション etc....



「来られない」子ども・若者には家庭訪問という支援が必要である

- →家庭訪問のスタイルで子ども・若者に救いの手を差し伸べてきた民間支援団体の経験/ノウハウを結集
- →全国各地で奮闘・苦悩する子ども・若者に関わるひとびとが安全に家庭訪問という支援ができるよう



若者を社会へとつなぐサポート

■ 家庭訪問支援士養成講座 スタートします!



若者自立支援五原則

社会的に孤立無援状況にある子ども・若者に支援の手を差し伸べるプロセスは5ステップ私たちはその5ステップを「若者自立支援五原則」と呼んでいます。



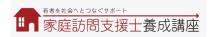


"これから"の支援

"これまで"の支援

要支援者の「来られない」が前提

要支援者の「来られる」が前提



家庭訪問支援は諸刃の剣

家庭に訪問する支援は「諸刃の剣」。当事者・ご家族、そして支援者にとっても"リスクを伴う"支援方法です リスク管理のための知識習得やタブーな行動を知らなければ、適切な支援を行えず、時には当事者の状態を悪化させてしまいます。



自宅/当事者自宰に伺ったとき・・・

- 窓やガラス、家財道具が破壊され、外壁が穴だらけだったとしたら?
- 天井までをも「ゴミ」が積み上げられ、悪臭漂う空間であったら?
- 当事者の髪の毛が地面に着くほどに長く、何年も入浴した形跡がなかったとしたら?
- 当事者が自己防衛の為に、刃物など危険な道具を手にしていたら?
- どこにも見当たらないと思い、ベッドの下をのぞいてみたら、こちらを避けるように這いつくばっていたら?
- 顔を見られないよう、段ボールやポリ袋に目穴をあけたものをかぶっていたら?

これらすべてが、家庭訪問で実際に起こったことであり、そして、例外とは言えないようなケースなのです



家庭訪問支援者が積み重ねた経験とノウハウを共有します

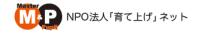
本講座は、社会的に必要性が認知された「家庭訪問」という支援がリスク管理などの徹底がなされないまま行われないよう 長年にわたり家庭に伺い、子ども・若者を支援してきた支援者たちの方法論をヒアリングし、体系立ててまとめています。 「家庭訪問」支援の貴補てん来な手法を学び、リスク回避のための徹底的な事前準備、スキル形成を盛り込んでいます。 また、成功例のみならず、支援者たちの失敗例も率先して組み込んだ実践的な講座となっています。



若者の課題解決への参画は

社会的投資であると同時に

自らの将来への投資でもある



- 働くとは・・?
- ■ライスワーク/Rice Work
- ■ライクワーク/Like Work
- ■ライフワーク/Life Work

人生の目的でなく、手段

NPOX企業

◆ 企業がNPOと協働する理由

高

本業/担当部署との関連性

NPOの課題解決に 自社リソースを 活かしてコミット

社会課題解決と本業が強く連動

共感支援型

持続的解決型

NPOの課題解決に 共感してコミット

CRM志向 共感型コミット

低

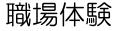
低

共感支援型

NPOの課題解決に共感してコミット



寄付型自動販売機









Microsoft*

長期インターンシップ



共感支援型

NPOの課題解決に 自社リソースを活かしてコミット



≦ 新生銀行 MoneyConnection®

生きてくには お金がかかる。 将来を選ぶのにも お金がかかる。 だから子供たちに 伝えたい、





プロボノプロジェクト

J.P.Morgan

就活支援プロジェクト 人事面接/社内見学







持続的解決型

社会課題解決と本業が強く連動



若者UPプロジェクト





東北UPプロジェクト







持続的解決型 CRM志向/共感型コミット



キフボン



藤原印刷株式会社 FUJIWARA PRINTING COLTD

キフ印刷



印刷物を発注することで、発注額の一部がNPO法人「育て上げ」ネットに寄付され、若者の自立・ 就労を支援する活動に役立つ社会貢献型印刷です。

- ※注1 本件プロジェクトは御社が社会貢献の一環として、発注額の内の当社の利益の一部を客付するものであ
- ※注2 お客様にご負担を掛けるものではありません
- ※注3 お客様に寄附を強要するものではありません

▶お問い合わせは こちら

-- キフ印刷の流れ



ご依頼・ご発注

藤原印刷株式会社 FUJIWARA PRINTING CO.LTD



NPO 法人「育て上げ」ネット





「印刷したい!」と思ったら、まずは気軽に弊社にご相談ください。すぐにお見稽もりさせていただ きます。

ご発注後、企業理念の「心刷」をモットーに、ていねいに印刷・製本して、納品させていただきま

納品後、若者の自立・就労を支援するNPO 法人「育て上げ」ネットに売り上げの一部を寄付。活動 に役立てていただきます。

★ Nur Yapa for Everyon キフ印刷 にお気軽にお声をおかけください。

「印刷物をどの大きさで、どれくらい刷るのか決まっていない」 「印刷会社に頼んだことがないので、どう入稿すればいいかわからない」 「目的は決まっているけれど、どんなものを作ればいいかわからない」などなど、印刷に関する疑問 をお持ちでしたら、どうぞ、弊社にご相談ください。